

## 2024年3月のベトナムの製造業PMIは再度50割れ



## 《ベトナムの2024年3月のPMIは再び50割れ》

S&P グローバルが2024年4月1日に公表したベトナムの2024年3月の製造業PMI（購買担当者景況感指数、以下PMI）は前月比0.5ポイント低下の49.9だった。1月以降は好不況の分かれ目となる50を超えていたが、新規受注が輸出を中心に大きく低下したため、販売価格の低下圧力による採算悪化や生産活動の減速が影響し、再び50を下回ったとのことである。

一方、今後1年の生産の増加について楽観視する回答の比率が過去18ヶ月で最高水準になるなど、企業の先行き見通しに対する自信は高まっている。これを受けて、生産が低迷している状況にあっても、2ヵ月連続で雇用の拡大を志向する企業が増加しているとのことである。

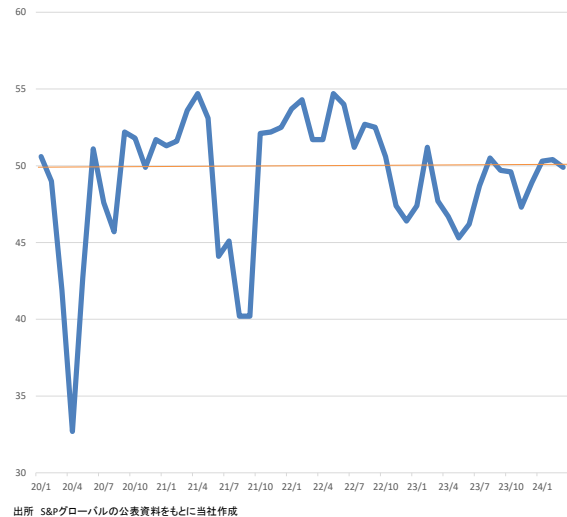
生産活動の先行きに強気になっている理由として、在庫調整の進展が最終局面に至っているとの判断があるようだ。3月の完成品在庫の減少ペースは輸出向けを中心に過去33ヶ月で最大となったことで、在庫調整が急速に進展しつつあることが推定できる。在庫水準が適正水準以下に低下したため、企業の多くが生産を増加させることに前向きになりつつあることが強気の先行き見通しとなり、雇用の増加を促しているのではないだろうか。

## 《政府統計との整合性》

ベトナムの3月の貿易統計によると、ベトナムの主力輸出品である電子機器（スマートフォン等）の1-3月期の輸出金額が同30.3%増と大きく増加している一方、ベトナムの鉱工業生産では、1-3月期の携帯電話（スマートフォン等）の生産は同13.3%減となっており、完成品在庫を取り崩して輸出需要に応じたことが推測できる。従って、情報機器等の完成品在庫の水準は引き下げられ、これが企業の先行き見通しを明るくしている可能性があることを考えると、業況改善の判断は実体面にも裏打ちされていると考えることができよう。

米国の供給管理協会（ISM）が発表した3月の米国の製造業景気指数は50.3となり、生産活動の拡大を示す50を2022年9月以来、1年半ぶりに上回った。また、財新/S&P グローバルが発表した3月の中国の製造業PMIは51.1と1年1ヵ月ぶりの高水準を付けている。米国の金融政策は依然として引き締め局面であることには注意が必要だが、輸出需要を牽引役にベトナムの生産活動が回復する環境は整いつつあり、企業収益の改善期待が醸成されつつあることが株式市場のパフォーマンスを下支えする可能性が高まっているといえよう。

図表1 ベトナムの製造業PMIの推移



出所 S&amp;Pグローバルの公表資料をもとに当社作成

## ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20240402

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。株式は、価格変動リスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。